

「目標と目的」

(熊本大学 法学部)

皆さん、こんにちは。今回合格体験記を書かせて頂くことになりました。この体験記では、私が受験勉強中に意識していたこと、また、これから受験勉強を始める皆さんに意識して欲しいと思うことを二つ挙げたいと思います。拙い文章になるかもしれませんが、最後まで読んで頂ければ幸いです。

まず一つ目は、「目標をできるだけ高く設定する」ということです。皆さんの中に、「今の実力で合格できる大学に進学しよう」とか、「数学が苦手だから、数学を受験科目から省こう」とか、このような安易な妥協をしている人はいませんか。そんな皆さんにこそ志望校を高くすることを強く勧めます。なぜなら、現時点で妥協してしまうことは、自分の可能性を狭めると同時に危険なことでもあるからです。実際に大学受験を経験していない皆さんには分からないかもしれませんが、本格的に受験勉強に取り組んでいない今の成績はほとんど参考になりません。E判定の志望校に合格することも十分可能であるし、逆にA判定の志望校に不合格になることもあり得ます。大切なことは高い目標を立て、その目標を達成するために粘り強く努力し続けることです。自分に妥協してしまうと気が緩み、自分の可能性を閉ざすことになってしまいます。苦手科目は考え方を変えれば、成績をアップさせる最も大きな得点源でもあるのです。苦手科目にこそ積極的に取り組んで克服し、悔いの残らない受験勉強に励んでください。

私自身も数学が苦手だったので、三年生になった当初は国語・英語・地歴三教科で受験できる私立文系型の公立大学を目指していました。しかし、個人面談での担任の先生の助言によって、志望校を五教科型の国立大学へ変更し、数学と向き合うことに決めました。結果、センター試験の数学では自己最高点を採ることができ、熊本大学に合格することができました。この結果は、数学から逃げていたかつての私では成し遂げられなかったことです。高い目標に挑戦もしないで妥協せずに本当に良かったと思います。現役生は今からでも成績をいくらでも伸ばすことができます。皆さんも是非目標を高く設定してみてください。

二つ目は「目的意識を持つ」ということです。皆さんは、学校の課題や考査の勉強は否応なくやっていると思いますが、しっかりとした目的意識を持って取り組んでいますか。「先生に怒られるから」とか、「周りが皆やっているから」というような理由で勉強をしている人が案外多いのではないのでしょうか。しかし、こんな理由での勉強で成績が伸びることはありません。例えば、英単語を覚える目的は長文を読めるようになるための最低条件を身に付けることであって、小テストに合格するためではありません。したがって小テストで出題される一つの意味だけではなく、長文読解に対応できるように複数の意味まで覚えるべきです。また、模擬試験や過去問を解く目的は出題傾向や時間配分に慣れるためであって、その出来不出来に一喜一憂するためではありません。したがって出来なかった問題を徹底的に

やり直すべきです。このように、目的意識とは「今行っていることの目的は何なのか。その目的を達成するためには何をすべきなのか。」を考えて学習に臨むことです。特に苦手教科を克服するためには、この目的意識が最も重要です。目的意識を持つと持たないとでは、学習効果に大きな差が生じます。「なぜ苦手になったのか」、「どうして克服しなければならないのか」、「どうすれば克服できるか」をじっくり考えてみてください。

ここまで私が述べてきたことはありきたりのことかもしれませんが、ありきたりということは多くの人に当て嵌まるということではないでしょうか。この体験記が少しでも皆さんの受験勉強の参考になれば、一先輩として光栄です。拙い文章になりましたが、最後まで読んで頂きありがとうございました。皆さんの健闘を心より応援しています。